

# 令和5年度 東由利小学校の学校経営について

## 1 学校教育目標

「夢いだき 花を咲かそう 東由利の子」  
～ よりよく生きる力を ～

## 2 学校経営の基本方針

地域に支えられ地域と共に歩む学校を基本とし、保護者・地域の期待を尊重すると共に保小中の連携を進め、小学校教育の担うべき役割を明確にし、発達段階に応じた教育活動を意図的・計画的に行っていききたい。

学習指導要領による育むべき資質・能力の3つの柱「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の育成がバランスよく実現できるように全教育活動で取り組んでいく。目の前の児童を第一に、小規模校であることを強みとして一人一人に目が行き届くきめ細かな支援を行い、協働体勢で日々の実践を積み重ねていくようにする。児童・保護者・地域・職員全員で成長を実感できるよう教育活動の充実を図りたい。

(1) 目指す学校像 「一人一人が生き生きと輝き、笑顔あふれる学校」

| 子ども                 | 保護者・地域                     | 教職員                             |
|---------------------|----------------------------|---------------------------------|
| 学ぶ楽しさ、自分の成長を実感できる学校 | 「おらほの学校」と感じ、双方向で連携する開かれた学校 | 仕事にやりがいを感じ、もっている力・個性を十分に発揮できる学校 |

(2) 目指す子ども像 「『花を咲かそう』を合い言葉に、夢を抱いて、伸びようとする子ども

①知の花を咲かせる子ども **学びに向かう力**

- ・よく読み、よく聞き、よく考えて“問い”を發し、豊かに表現できる子ども
- ・「分かった」「できた」を実感し、学びに向かう力を身に付けた子ども

②創造の花を咲かせる子ども **チャレンジする心**

- ・創意工夫し、何事にもチャレンジする子ども
- ・めあてをもち、夢や目標に向かって努力する子ども

③絆の花を咲かせる子ども **さわやかなあいさつ**

- ・明るくさわやかなあいさつができる子ども
- ・互いのよさを認め合い、なかよく助け合う思いやりのある子ども

(3) 目指す教師像

- ①子どもに寄り添い、支え、子どものよさを伸ばす教師
- ②仕事に責任と誇りをもち、子ども・保護者・地域社会・同僚から信頼される教師
- ③心身共に健康で、豊かな人間性と深い使命感をもって自己を高める教師

### 3 経営の重点と主な施策

- (1) 学習意欲の向上と確かな学力の定着 ☆分かった ☆できた
- ①児童の実態に応じて単元構成や授業展開を工夫し、学びに向かう力を高める。
  - ②少人数のよさを生かし、一人一人に目が行き届くきめ細かな支援により、基礎学力の向上を図る。
  - ③「分かった」「できた」を実感できる場の工夫と学ぶ喜びにつながる評価の工夫を図る。
  - ④日常的な言語活動の充実と、思考を広げ深める学び合いを通して表現力の向上を図る。
  - ⑤基本的な生活習慣や授業と連動した家庭学習、音読、読書の習慣化を図る。
  - ⑥授業におけるICT機器の効果的な活用の工夫を図る（情報モラル・プログラミング教育）。
- (2) たくましく生きる心と体の育成 ☆驚き・発見 ☆ふるさとのよさ
- ①キャリア教育の視点を重視したふるさと教育（地域の素材や人材の活用、栽培活動等の体験的活動）を通して、夢を育む活動の充実を図る。  
※夢や目標を職員室前廊下へ掲示（達成できた部分に色塗り）→学年末に、キャリアノートに添付
  - ②児童の思いや考え、創意工夫を生かした活動を展開する。
  - ③体育的行事の推進により、運動に対する意欲や体力の向上を図る。
  - ④朝の歌や音楽の授業、集会等を通して、明るい歌声を育てる。
  - ⑤家庭と連携して生活習慣の改善と食育の推進に取り組む。
  - ⑥健康や安全の意識の向上を図る（危機管理能力の育成）。
- (3) 豊かな人間関係の構築 ☆役に立っている自分 ☆できるようになった自分
- ①特別活動・縦割り活動の充実を図り、自己肯定感・自己有用感を高める（一人一人が活躍できる学級・学校づくり）。  
※事前指導で自信を付け、時中の活動を見守り、励まし、事後指導で意味付け、価値付ける。
    - ・児童会活動：児童委員会、代表委員会、児童総会等
    - ・縦割り活動：運動会、花壇、サツマイモ、駅伝、なべっこ等
  - ②生徒指導の三機能を生かし、互いの気持ちが通い合う居心地のよい学級、共に高まり合う学級をつくる（学級経営が基本：学習規律、受容的な学級の雰囲気）。
  - ③地域、社会の一員として、さわやかな「あいさつ運動」を推進する。
  - ④「特別な教科 道徳」の授業改善を図る。
  - ⑤心に響く生徒指導、人権教育の充実を図る。
- (4) 地域に開かれ、信頼される学校づくりの推進
- ①コミュニティ・スクールの機能を生かし、学校と地域が双方向で連携する学校運営を図る。
    - ・保育園、中学校との連携
    - ・学校だより、CSだより全戸配付と学校HPの充実
  - ②地域素材（自然・人材・施設）を活用した豊かな教育活動の展開、地域行事への参加等を通して、開かれた学校づくりに努める。
  - ③PTA活動、各種通信の配付等を通して、保護者との連携を図り、信頼関係を構築する。
  - ④安全で安心して学べる学校・学区づくりに努める（関係諸機関との連携による通学路の安全確保、安全点検）。
- (5) 教師の力量を高め、協働して取り組む研修の充実
- ①学年部（低・中・高・特支）の連携を基に、各キャリアステージの融合により学校全体の教育力の向上を図る。
  - ②研究主題や研究仮説、自己目標を意識した授業を日常的に実践し、指導力向上に努める。
  - ③初任者研修等諸研修を生かし、相互の教師力の向上を図る。
  - ④国や県、市の指針及び学校教育目標等の共通理解を図り、児童主体の質の高い授業を目指して共通実践に取り組む（45分間の展開の工夫）。
  - ⑤特別支援教育の充実に取り組む（実践研修、各機関との連携、保護者との教育相談等）。

#### 4 学校経営の基本構想

